

01

YouTube動画の特徴を知ろう

覚えておきたいキーワード

YouTube
YouTubeのしくみ
投稿までの流れ

YouTubeは、誰でも気軽に動画を視聴したりアップロードしたりすることができる動画共有サービスです。ここでは、YouTubeのしくみや動画を投稿するまでの流れについてかんたんに解説していきます。

1 YouTube動画のしくみ

YouTubeは、世界中の動画を視聴したり自分で動画をアップロードしたりできる動画共有サービスです。アップロードした動画は、公開状態にあれば自分のページを訪れたどのユーザーでも視聴することができます。ただし、アップロードした動画をたくさんの人に見てもらうためには、人の目に付きやすくする工夫をしなければなりません(詳しくは後述)。まずは、YouTubeのしくみや広告収入についてかんたんに解説していきます。

▶ チャンネル

自身で作成した動画をアップロードしたり管理したりするページのことを「チャンネル」と呼び、ユーザーが任意のチャンネルを登録することを「チャンネル登録」といいます。自身のチャンネルの「チャンネル登録者」には動画をアップロードすると通知が届く機能があり、チャンネル登録者が多いチャンネルはそれだけ見てもらえる機会が増えることになります。

▶ 評価

YouTubeでは動画を視聴したユーザーが、コメントを残したり評価を付けたりすることができる「評価システム」があります。これは、YouTubeに登録しているユーザーならその動画に対して「高評価」か「低評価」のどちらかを評価することができるシステムです。

▶ 広告

YouTubeでは、規定の条件(P.175参照)を満たせばYouTubeパートナープログラムに参加(動画に広告が付けられる)が可能になります。YouTubeパートナープログラムに参加後、YouTubeが規定する収益化ポリシーを遵守することで、動画に広告を付けて収益を得ることができるようになります。



2 YouTubeに動画を投稿するまでの流れ

下記は、実際に動画を作成してYouTubeに動画を投稿するまでの流れになります。それぞれの手順で記載しているセクションを参照しながら進めてください。

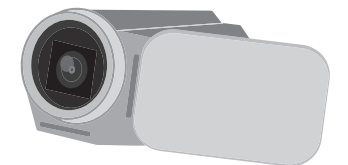
▶ ①動画のテーマを決める

撮りたい動画のテーマを決めます(Sec.02～03参照)。



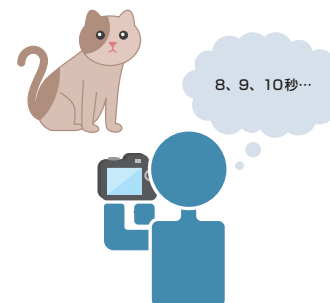
▶ ②テーマに合った撮影機材を用意する

テーマが決まったら、撮影する内容に適切な機材を用意します(Sec.04参照)。



▶ ③撮影する

動画の内容や見てくれる人を意識して撮影します(Sec.05～07参照)。



▶ ④映像を編集して動画を作成する

撮影した映像を動画編集ソフトで編集し、動画データとして出力します(Sec.08～44参照)。



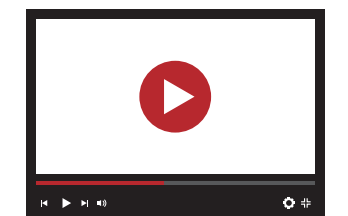
▶ ⑤ YouTube チャンネルを開設する

動画を投稿するためにGoogleアカウントを作成し、YouTubeチャンネルを開設します(Sec.45～48参照)。



▶ ⑥ YouTube に動画を投稿する

作成したYouTubeチャンネルに動画データを投稿します(Sec.49～50参照)。



Memo 広告収入の管理

YouTubeチャンネルとGoogle AdSenseのアカウントを紐付けすることで、Google AdSense上で広告収入の支払いなどの管理を行えるようになります(Sec.65～71参照)。

08

動画の編集に必要な機材を揃えよう

覚えておきたいキーワード

動画編集ソフト
スペック
PowerDirector

動画編集にはパソコンと動画編集ソフトが必要です。パソコンの性能は使用する動画編集ソフトの要件を満たしていれば基本的に問題ありませんが、性能がよいほど動画編集がスムーズに行えます。

1 動画を編集するパソコン

動画編集をパソコンで行うには、動画編集ソフトで指定されているスペックを満たしている必要があります。パソコンにおけるOSとは、オペレーティングシステムのことを指し、WindowsやmacOSが一般的に主流なOSです。スペックとはパソコンのデータの処理能力を指し、CPUやメモリ、グラフィックカードなどの性能が含まれます。CPUが頭脳で、メモリが作業机、グラフィックカードは絵を描く能力にたとえることができます。基本的には使用する動画編集ソフトで指定されているスペックを満たすパソコンを用意すれば問題ありませんが、パソコンのスペックが高いほどより複雑な編集に耐えられるようになります。

▶ 著者が推奨する動作環境

OS	Windowsをお使いの方は、これからのサポート(将来性)のことを考えるとWindows 10かWindows 11が望ましいです。
CPU	動画編集ではCPU性能がいちばん大きく影響を受けるため、Intel製なら第4世代以降のCore i5以上、AMD製ならRyzen 5以上が望ましいです。最新世代のものであってもi3やRyzen 3などの下位のグレードの場合、少し物足りなくなる可能性があります。
メモリ	メモリ容量もCPUと同じく編集作業中の快適さに直結する要素のため、できれば8GB以上搭載が望ましいです。
グラフィックス (GPU)	公式で記載されている動作の重いプラグインやツールを使用しない限りはとくに必要ありません。快適性を上げたい、GPUを備えておきたいということであれば、RTX 1650程度であれば問題ありません。
画面サイズ	一般的に16:9の縦横比のものが主流のため、それに近いものであればとくに問題ありません。使いやすい画面サイズのもので構いませんが、大きい画面であるほど操作は行ないやすくなります。
HDD / SSD	PowerDirectorのインストール先がSSDであれば、HDDよりも快適さが見込めると思えます。ただPowerDirectorのファイルサイズよりも動画のファイルサイズのほうがはるかに大きいため、動画を保存(出力)する際には消耗品としての外付けHDDなどを用意するのがおすすめです。
パソコンのタイプ	ノートパソコンかデスクトップパソコンかはどちらでも問題ありませんが、なるべく大きい画面のものがおすすめです。ただノートパソコンを使用する際は、操作性の観点からマウスは用意しておくといでしょう。

2 動画を編集するソフト

動画を編集するには、パソコンのほかに動画編集ソフトが必要です。動画編集ソフトには、プロ向けのものから家庭向けのものまでさまざまなソフトがありますが、本書では家庭用として国内販売シェアNo.1の動画編集ソフト「PowerDirector」を使って解説をしています。PowerDirectorは値段別でパッケージのグレードが分かれており、価格が高いグレード(「Standard」<「Ultra」<「Ultimate」<「UltimateSuite」)のものほど機能が多く含まれています。ある程度凝った編集がしたいならUltra以上、基本機能がすべて揃ったものを使用したいならUltimate、高品質なエフェクト類をすべて使用したいならUltimateSuiteを選ぶのがおすすめです。またパッケージのほかに、1年間の定額料金を支払うサブスクリプションプラン(PowerDirector 365)もあります。こちらは使用期間内なら常に最新のバージョンにアップデートされるため、常に最新バージョンのPowerDirectorを使いたい人にとってはコストパフォーマンスが高いです。PowerDirector 365はUltimateパッケージと同等の機能に加え、サブスクリプションユーザー限定の特典が得られます。これらのパッケージおよびプランの詳細な違いについては、PowerDirector公式サイトを確認してください。本書では、PowerDirector 365の体験版である「PowerDirector Essential」を使用して動画編集を解説します。



https://jp.cyberlink.com/products/powerdirector-video-editing-software/features_ja_JP.html

Memo スペックが低いパソコンを使うとどうなる？

動画編集は、パソコンで行う作業の中でもとくに重い処理を行います。そのためスペックの低いパソコンを使って動画編集を行うと、パソコンの処理待ちの時間が増えたり、場合によってはフリーズの頻度が高くなったりします。



16

メディアルームとタイムラインについて確認しよう

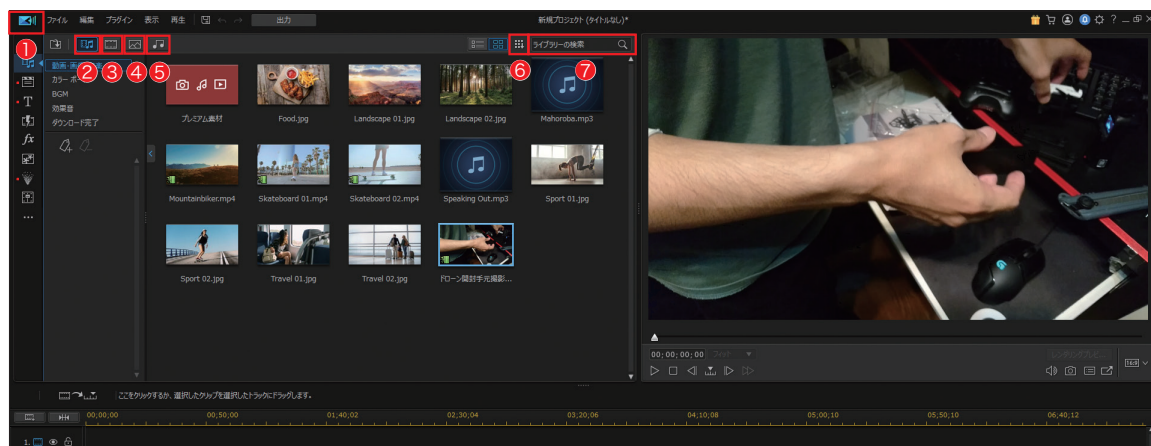
覚えておきたいキーワード

メディアルーム
タイムライン
クリップ

ファイルやメディアから読み込まれた動画素材は、「メディアルーム」に表示されます。ここではメディアルームの使い方、メディアルームでのクリップの扱い方、タイムラインの見方について解説します。

1 メディアルームの画面構成

PowerDirectorの画面左上にある「メディアルーム」には、動画・画像・音声のクリップ(素材)のサムネイルが一覧表示されています。このサムネイルはサイズを変更したり、種類別に表示／非表示にしたりすることができます。



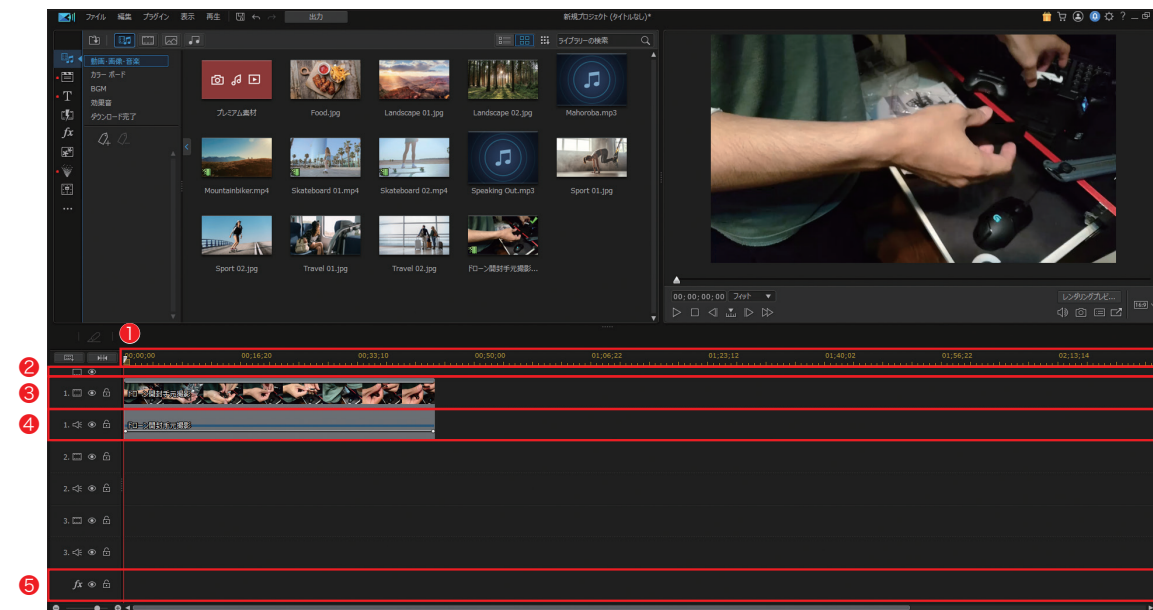
1	メディアルーム	メディアルームが表示されます。
2	すべてのメディア	すべてのクリップをサムネイル表示します。
3	動画のみ	
4	画像のみ	表示するサムネイルのカテゴリーを切り替えます。
5	音声のみ	
6	ライブラリーメニュー	サムネイルのサイズや表示方法を変更できます。
7	検索エリア	ライブラリーにあるメディアの検索ができます。

Key Word クリップ (素材)

メディアルームに読み込んだり、タイムラインに配置したりする1つ1つの画像、動画、音声などの素材を「クリップ」といいます。動画編集では、画像、動画、音声などのクリップを使って、順番を入れ替えたり、重ねたりして1つの動画を作り上げていきます。

2 タイムラインの画面構成

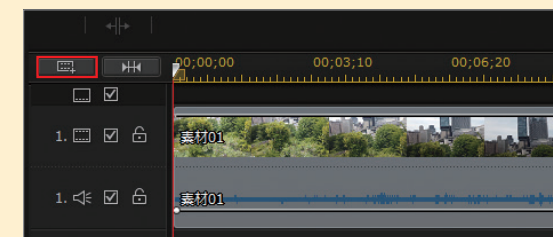
タイムライン上では、横軸の経過時間に沿って、ビデオクリップのサムネイル画像が連続的に表示されます。タイムラインには複数の「トラック」があり、ビデオクリップのほかオーディオクリップ、エフェクトクリップ、字幕クリップなどを並列して配置することができます。



1	タイムラインルーラー	経過時間を示す部分です。黄色の文字で「時間：分；秒；フレーム(コマ数)」の数値が表示されます。🖱️(タイムラインスライダー)を左右にドラッグして、再生位置の調整を行います。
2	字幕トラック	字幕クリップを配置します。デフォルトでは非表示になっていますが、「字幕ルーム」を開くことでアクティブになります。
3	ビデオトラック	ビデオクリップ(動画の映像部分や画像、テキストクリップ)を配置します。標準では「ビデオトラック1～3」の3つが用意されています。
4	オーディオトラック	オーディオクリップ(動画の音声部分や音声、BGM)を配置します。標準では「オーディオトラック1～3」の3つが用意されています。
5	エフェクトトラック	ビデオクリップに特殊効果をかけるエフェクトクリップを配置します(Sec.34参照)。

Key Word トラック

「トラック」とは、クリップをタイムラインに配置できる小分けされたエリアのことです。トラックは、🖱️(タイムラインにビデオ／オーディオトラックを追加)をクリックすると起動する「トラックマネージャー」から自由に追加できます。なお、ビデオクリップはビデオ部分とオーディオ部分でリンクされているため、動画をトラックに配置する場合は必ず「ビデオトラック」と「オーディオトラック」をそれぞれ1つずつ使用します。それぞれ個別で編集したい場合は、「動画と音声をリンク解除」(P.113上のStepup参照)することで分けて編集を行うことが可能です。



23

動画の最初に タイトルを入れよう

覚えておきたいキーワード

タイトルルーム
タイトルデザイナー
ビデオトラック

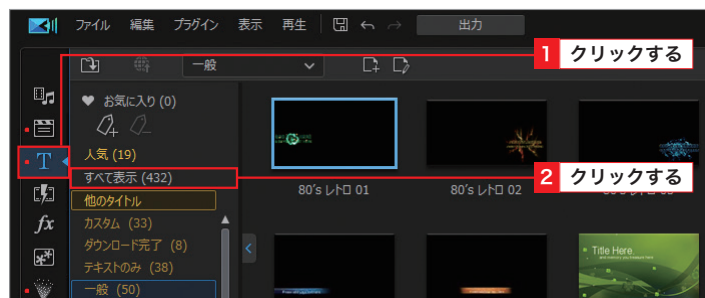
動画にタイトルを入れるには、タイトルルームでタイトルを作成し、ビデオトラックに配置します。「開始／終了時の特殊効果」や、キーフレームによるアニメーションを加えることで、見栄えのよいタイトルを作成できます。

1 既存のテンプレートを使ってタイトルを配置する

PowerDirectorのタイトルルームの中には、既存のデザインのテキストテンプレートが多数盛り込まれています。好みのテンプレートがある場合や自分でテキストのデザインをするのが苦手な場合は、これらのテンプレートを活用するのがおすすめです。

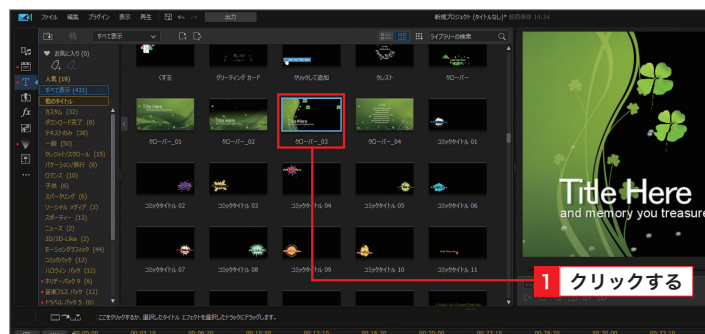
1 タイトルデザイナーを表示する

画面左のメニューから**T**をクリックし**1**、「タイトルルーム」を表示します。くすべて表示>をクリックします**2**。



2 テンプレートを選択する

テキストテンプレート（ここではくローバー_03>）をクリックすると**1**、プレビューウィンドウにテンプレートのデザインが表示されます。

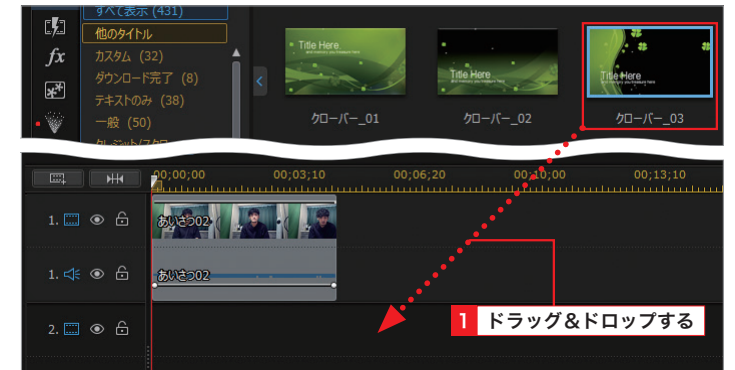


Memo タイトルルームのカテゴリー

タイトルルームの中にあるテンプレートは、それぞれカテゴリーで分けられています。カテゴリー別で表示することで、それぞれのテーマに沿ったテンプレートを確認することができます。たとえば、映画のエンドロールのようなテンプレートを使いたい場合は、くクレジット/スクロール>をクリックすると、目的のテンプレートをすぐに見つけられ、作業がスムーズになります。

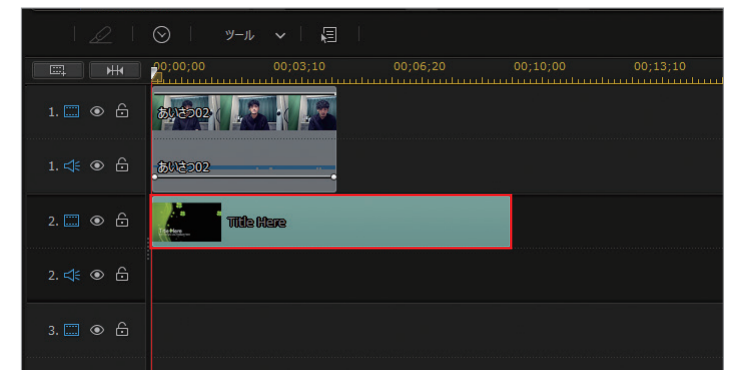
3 選択したテンプレートを配置する

タイムライン内の配置したいビデオトラック（ここではビデオトラック2）にドラッグ&ドロップします**1**。



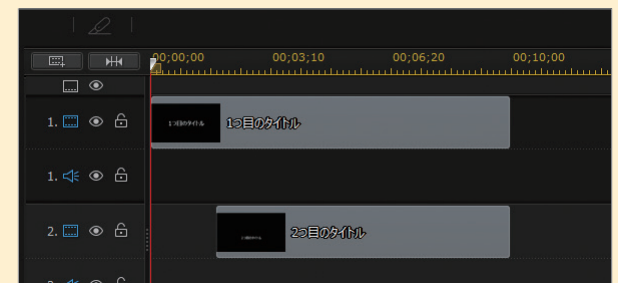
4 テンプレートが追加される

テキストテンプレートが配置されます。Sec.25を参考にタイトルデザイナーを起動してタイトルを編集しましょう。



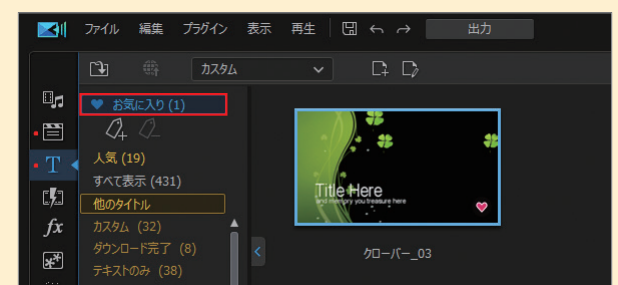
Memo タイトルはビデオトラックに入れて使用する

タイトルルームで作成したタイトル素材は、ビデオトラックに入れて使用します。そのため、空いているビデオトラックの数だけ複数のタイトルを同時に重ねて使うことができます。また、タイトル素材は1つの映像素材として扱われるため、動画素材のように切り替え効果（P.96参照）やエフェクト（P.100参照）を使用することもできます。



Hint テンプレートをお気に入りに追加する

何度も使用するテンプレートがある場合は、「お気に入り」に追加しておきましょう。お気に入りに追加したテンプレートの右下にある♡をクリックし、♡にします。お気に入りに追加したテンプレートは、カテゴリーのくお気に入り>をクリックすると、すぐにアクセスすることができます。



32

タイムラインのトラックについて確認しよう

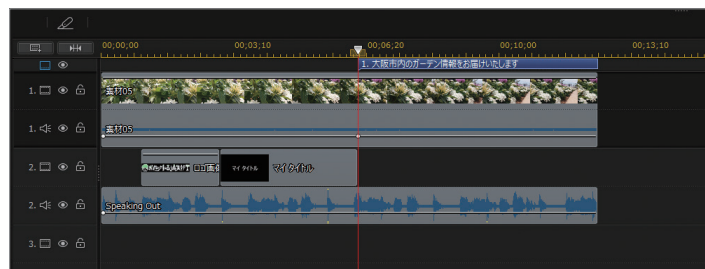
覚えておきたいキーワード

- # トラック
- # 切り替え効果
- # 特殊効果

タイムラインにある「トラック」には、動画、画像、音楽などのクリップを配置する役割があります。また、切り替え効果(トランジション)や特殊効果(エフェクト)、字幕の追加もトラック上で行います。

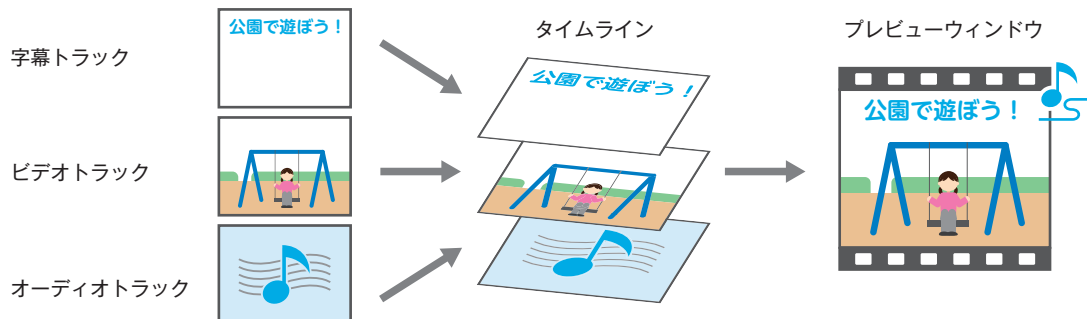
1 トラックとは

トラックは画像・動画・音楽などの素材(クリップ)を入れて動画を作るための入れ物です。各トラックの名称と役割はP.51を参照してください。各トラックはそれぞれ分離して修正することができるため、たとえばBGMだけを差し替える場合はそのオーディオトラックだけを修正すれば、ほかのトラックに手を加える必要はありません。



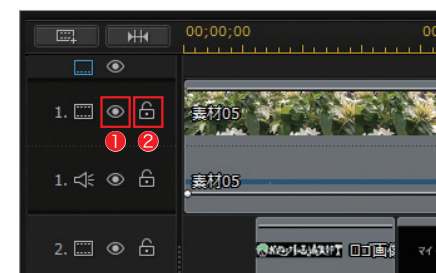
複数のトラックを使って素材を重ねる

トラックは画像編集ソフトのレイヤーのようなもので、トラックの数だけ一度に複数の素材を重ねることができます。また、視覚的な要素であるビデオトラックとエフェクトトラックについては、トラックの数字が大きくなるにつれて(初期設定では下にいくほど)前面に重なっていきます。ただし、字幕トラックだけは常にいちばん上にありますが、必ず最前面に表示されるという特徴があります。トラックが上にいくほど前面に表示されるようにしたい場合は、画面右上の[編集]の順にクリックし、「タイムラインのトラックを逆順にする(最後=トラック1)」にチェックを付けることで、タイムラインのトラックの並びを逆順にできます。



2 トラックのボタン

各トラックには目マークと鍵マークのボタンが付いています。クリックすることでトラックの有効化/無効化、トラックのロック/ロック解除が行えます。



① トラックの有効化/無効化	クリックして目マークをオフにするとそのトラックが非表示になり、プレビュー時や動画出力時に、そのトラックに配置したクリップが表示されなくなります。
② トラックのロック/ロック解除	クリックして鍵をかけると、そのトラック全体にロックがかかり、配置したクリップの選択や編集を行えなくなります。これは誤編集を防ぐ目的の機能です。

3 動画に加えることのできる演出効果

切り替え効果/トランジション

場面が変わるときなどに切り替え効果を入れることができます(Sec.33参照)。



特殊効果/エフェクト

さまざまな視覚的な特殊効果をかけることができます(Sec.34参照)。



タイトル/字幕

動画にタイトルや字幕を入れることができます(Sec.23~29参照)。



BGM/ナレーション

動画にBGMやナレーションなどの音声を入れることができます(Sec.37~41参照)。



37

オーディオクリップについて確認しよう

覚えておきたいキーワード

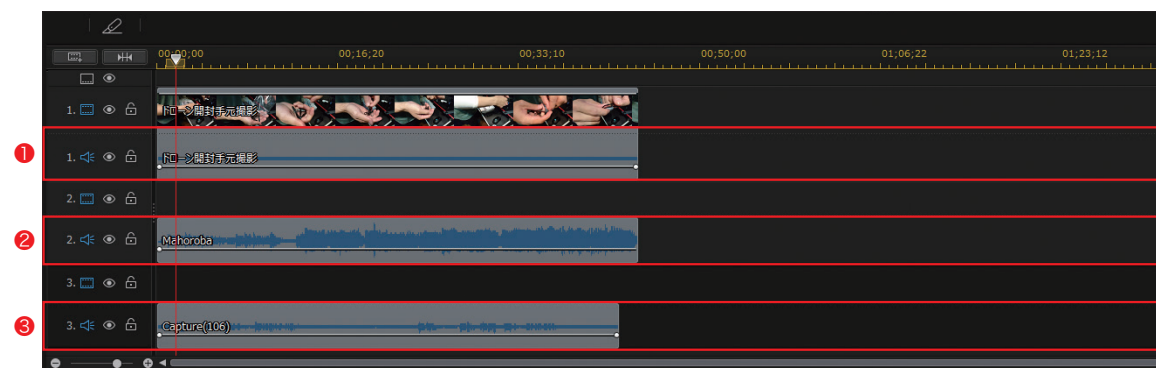
オーディオクリップ
オーディオトラック
トリミング/分割

動画に適切なBGMを追加することで、シーンの雰囲気を変えたり大きく盛り上げたりすることができます。音声素材はBGMのほかにも、ビデオクリップの音声部分やナレーション、効果音などがあります。

1 オーディオクリップとは

編集で使用するオーディオクリップには、「音楽CDやダウンロードして取り込んだ音楽ファイル」「マイクを使って録音した音声ファイル」「動画に収録されている音声部分」の3種類があります。タイムライン (P.51参照) には音声ファイルを入れて編集するオーディオトラックが用意されています。BGM、効果音やナレーション、動画に収録されている音声部分を編集する際にオーディオトラックを使用します。

▶ タイムラインにあるオーディオトラック使用例



①	オーディオトラック (動画)	ビデオトラックとリンクしており、動画に収録されている音声部分の編集が可能です。
②	オーディオトラック (BGM)	単一のオーディオトラックを使用し、BGMの編集が可能です。
③	オーディオトラック (ナレーション)	単一のオーディオトラックを使用し、マイクを使って録音された音声の編集が可能です。

Key Word オーディオクリップ

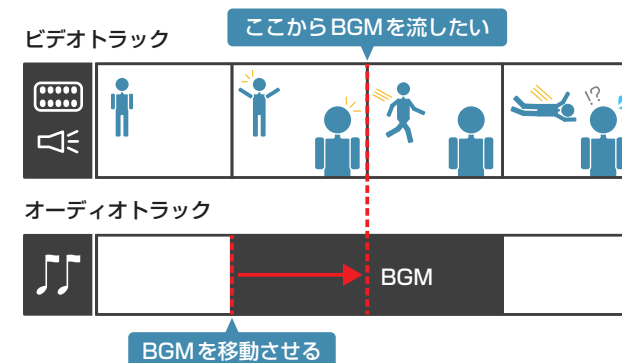
BGM (音楽) やナレーション (音声) などの音声データを扱うファイル素材のことを「オーディオクリップ」といいます。すべてのオーディオクリップは、オーディオトラックに入れて編集を行います。

2 オーディオクリップを編集する

メディアルーム内に読み込んだオーディオクリップは、タイムライン上のオーディオトラックに配置したあとに編集することができます。

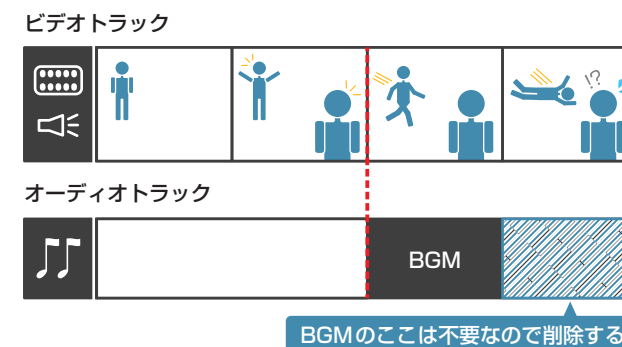
▶ BGM が始まるタイミングを調整する

オーディオトラックにBGM (オーディオクリップ) を配置したあと、左右にドラッグして移動させることで、BGMが始まるタイミングを自由に調整することができます (P.113参照)。



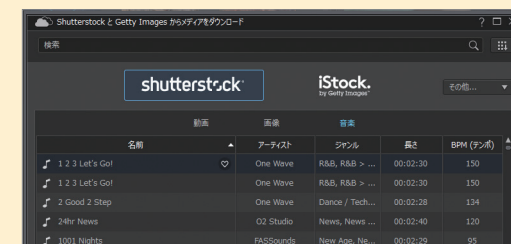
▶ BGM の長さを調整する

BGMは、1曲をそのままフルコーラスで使用する必要はありません。不要な部分をカットすることで使いたい部分だけを追加できます。オーディオトラックにオーディオクリップを配置したあと、オーディオクリップの不要な部分をトリミングしましょう (P.113下のStepup参照)。また、トリミング以外にもタイムライン上でオーディオクリップを分割し、不要な部分をカット (削除) するという編集手法もあります。



Memo 著作権フリーのBGM

動画編集でBGMを使用する際は、著作権のルールに気を付けましょう。有名なアーティストの楽曲があったとして、YouTubeでは「歌ってみた」などの演奏した動画を公開することは許可されていますがCD音源の利用は許可されていないものが大半です。著作物によってどこまでの使用が許可されているかが異なるため、よくわからない場合はYouTubeでの使用が許可されている著作権フリー、およびロイヤリティフリーのBGMを探すのがおすすめです。なお、PowerDirectorのサブスクリプションプラン (PowerDirector 365) の特典の1つに、素材サイト「Shutterstock」のロイヤリティフリー素材というの、使用料金を支払って利用するものですが、サブスクリプションユーザーであればPowerDirectorのメディアルームから検索することができるものに限り、Shutterstockの素材 (画像、動画、音楽) を無料で動画編集に使用することができます。無料の素材と比べて高品質なものが多いため、利用規約を確認のうえPowerDirectorのサブスクリプションプラン (PowerDirector 365) を利用してみましょう。



44

YouTube用の動画を出力しよう

覚えておきたいキーワード

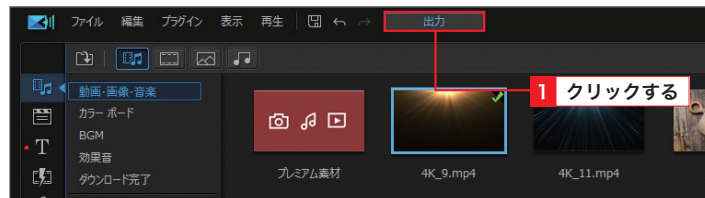
- # 出力
- # ファイル形式
- # ファイルの拡張子

PowerDirectorで編集したプロジェクトファイル(.pds)は、そのままでは再生をすることができません。動画再生ソフトで再生したりYouTubeに動画を投稿したりするために、1つの動画ファイルとして出力を行きましょう。

1 ビデオファイルを出力する

1 <出力>をクリックする

メニューから<出力>をクリックします
1。



2 出力先とファイル形式を選択する

4つのタブから出力先(ここでは<標準 2D>)をクリックし1、ファイル形式(ここでは一般的な<H.264 AVC>)をクリックします2。

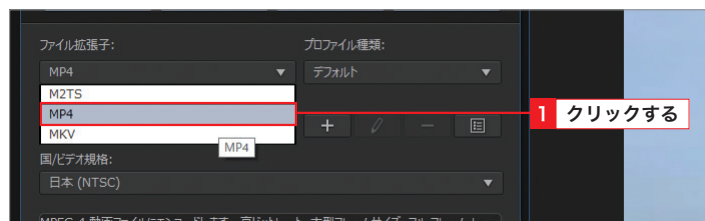
Memo 出力方法

出力方法は、標準2Dのほか、デバイス(スマートフォンやゲーム機用)、オンライン(Youtubeなどへ直接アップロードが可能)から選ぶことができます。ここでは、一般的な動画ファイルとして出力するために「標準2D」による「H.264」のファイル形式で保存します。



3 ファイルの拡張子を選択する

「ファイルの拡張子」の▼をクリックして展開し、一般的な動画拡張子である<MP4>をクリックします1。

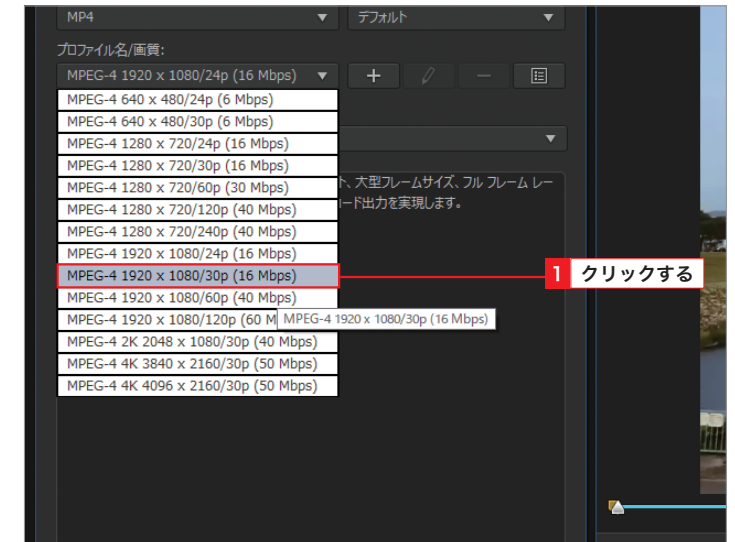


4 画質を選択する

「プロファイル名/画質」の▼をクリックして展開し、一般的なフルHD画質の<MPEG-4 1920x1080/30p (16Mbps)>をクリックします1。

Memo プロファイル名/画質の選択

「プロファイル名/画質」のプリセットでは、「解像度」(画質の細かさ)と「フレームレート=p」(1秒あたりのフレーム数)を指定します。いずれも数値が大きいくほど高画質(解像度の値)でなめらか(フレームレートの値)な動画になりますが、ファイルサイズは大きくなります。なお、これらの値を大きくしたとしても編集元の動画以上の画質になることはありません。

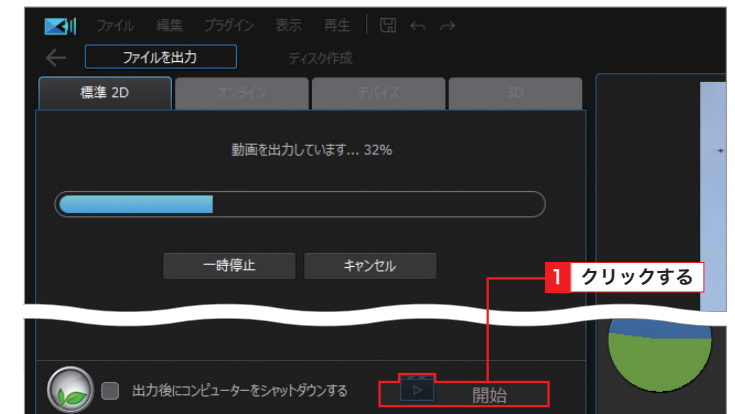


5 出力を開始する

<開始>をクリックすると1、出力が開始され、出力処理中は進捗状況が表示されます。

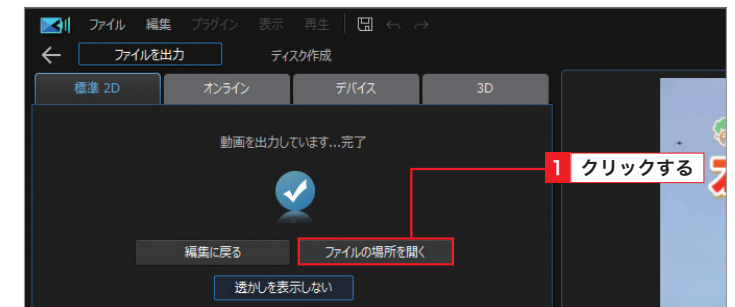
Memo 保存先の指定

<開始>をクリックする前に、プレビューウィンドウ下の「書き出しフォルダー」の...をクリックすることで、任意の保存先に変更できます。



6 出力が完了する

出力が完了すると、体験版の場合は「完了しました。」画面が表示されるので、<ミッションセンターに戻る>→X→Xの順にをクリックして閉じます。<ファイルの場所を開く>をクリックすると1、保存先が表示されます。



Memo サンプリング周波数はファイル形式で固定

PowerDirectorでは、出力時の設定でサンプリング周波数を手動で変更することはできません。「H.264 AVC」などの一般的なファイル出力形式では音声のサンプリング周波数は48.000Hzで出力されますが、手順2で<Windows Media>を選択して出力した場合のみ44.100Hzで出力されます。編集に使用している音声素材の周波数と出力時の周波数の値が異なると、編集時と出力時で時間経過による音ズレを引き起こす可能性があります。そのため、「歌ってみた」などの動画を作成する際は、音声素材の周波数(44.100Hz/48.000Hz)に合わせて適切な出力形式を選びましょう。

◀ Section ▶

第8章：YouTube Studioで動画を編集しよう

51

投稿した動画を
YouTube Studioで編集しよう

覚えておきたいキーワード

YouTube Studio
動画の詳細
動画エディタ

動画をYouTubeに投稿したあとでも、YouTube Studioからいつでもタイトルや説明文の編集・変更が可能です。また動画内容に手を加える編集も、BGMやぼかしの追加、字幕の追加などであれば行うことができます。

1 投稿済みの動画で編集できること

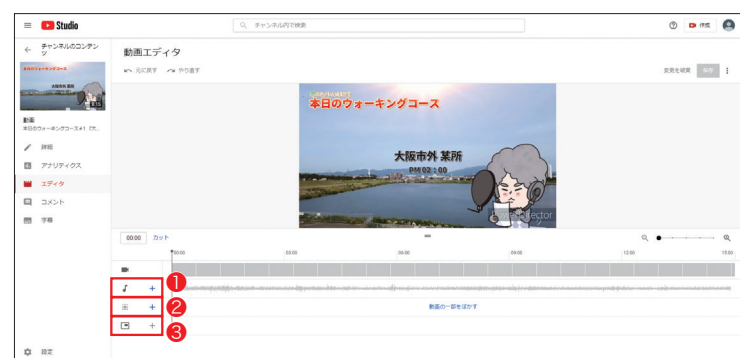
YouTube Studioでは、投稿済みの動画でもかんたんな変更・編集が可能です。「動画の詳細」画面ではタイトル、説明、サムネイルなどといった動画に関する情報を、「動画エディタ」画面ではBGM、ぼかし、字幕など、動画そのものに直接変更を加えることができます。

▶ 「動画の詳細」画面



- 1 動画のタイトルを設定・変更できます (Sec.57 参照)。
- 2 動画の説明文を設定・変更できます (Sec.57 参照)。
- 3 動画の内容を1枚のサムネイル画像として設定・変更できます (Sec.58 参照)。

▶ 「動画エディタ」画面



- 1 YouTube オーディオライブラリのBGMを追加できます (Sec.53 参照)。
- 2 動画内にぼかしを設定できます (Sec.54 参照)。
- 3 動画に字幕を設定 (自動生成 / 手動生成) できます (Sec.55 参照)。

2 投稿済みの動画の編集画面を表示する

1 編集したい動画を開く

YouTube Studioを表示し、＜コンテンツ＞をクリックします¹。動画の一覧画面が表示されるので、編集したい動画のサムネイルをクリックします²。



2 「動画の詳細」画面が表示される

「動画の詳細」画面が開き、タイトルや説明文を編集できます。＜エディタ＞をクリックします¹。



3 「動画エディタ」画面が表示される

「動画エディタ」画面が表示されます。＜使ってみる＞をクリックすると、BGMやぼかしを追加できるようになります。＜字幕＞をクリックします¹。



4 「動画の字幕」画面が表示される

「動画の字幕」画面が表示されます。＜言語を設定＞をクリックして任意の言語を選択し¹、＜確認＞をクリックすると²、字幕を追加できるようになります。



58

視聴者の目を惹くサムネイルを設定しよう

覚えておきたいキーワード

サムネイル
画像・動画編集ソフト
Webサービス

YouTubeでより多くの人に動画を見てもらうためには、「クリックしたくなるような目を惹くサムネイル」を用意できるかが重要です。サムネイルは専用のソフトだけでなく、ソフト不要のWebサービスなどでも作成可能です。

1 オリジナルのサムネイルを設定する

YouTubeでは、動画を投稿するとサムネイル画像が自動的に生成されます。この中から任意の画像をクリックすることでサムネイルを指定することができますが(P.142手順2参照)、自分で用意した画像をサムネイルとして設定することも可能です。なお、サムネイルを自分で用意した画像で設定するには、電話番号によるアカウントの認証が必要です(Sec.48参照)。

1 「動画の詳細」画面を開く

YouTube Studioで<コンテンツ>をクリックし1、サムネイルをしたい動画の(詳細)をクリックします2。



2 <サムネイルをアップロード>をクリックする

「サムネイル」の<サムネイルをアップロード>をクリックします1。



3 サムネイルの画像ファイルを選択する

パソコンに保存されているサムネイルの画像ファイルをクリックして選択し1、<開く>をクリックします2。



4 サムネイルを保存する

アップロードした画像が選択されていることを確認し1、<保存>をクリックします2。



2 PowerDirectorでサムネイル用の画像を作成する

画像編集ソフトがなくても、Power Directorでサムネイル画像を作成することが可能です。1シーンを作成する要領で画像やテロップを配置後、プレビューウィンドウを右クリックして<スナップショット>をクリックすることで、1枚の静止画として保存できます。



Memo 外部サービスでサムネイル用の画像を作成する

動画のサムネイル画像を自分で作成するには、スマートフォンの画像編集アプリ、「Photoshop」などの画像編集ソフト、「Canva」などのサムネイル画像を作成できるオンラインサービスを利用するのがおすすめです。利用するサービスによって加工の自由度が変わるので、自分の納得のいくサムネイルを作成できるものを選びましょう。なお、YouTubeで定められている画像の解像度やサイズは下記の通りです。

- ・解像度：1280×720 (最小幅 640px)
- ・画像ファイル形式：JPEG、GIF、PNG など
- ・画像サイズ：2 MB 以下 (2MB 以下であれば解像度が1920×1080 でもアップロード可能)
- ・アスペクト比：16:9 (推奨)

Memo 目を惹くサムネイルを作るコツ

YouTubeで結果を出している人たちのほとんどは、ひと目で内容が想像できる魅力的なサムネイルを作成しています。なぜなら、サムネイルが魅力的なほど、再生回数が増える傾向にあるからです。そしてそのようなサムネイルを作るには、見せたい被写体(動画に関連する人物や動物、アイテムなど)と文字数を絞ることがポイントです。あれもこれもと足すのではなく不要な要素を引いていくことで、残った必要な情報が伝わりやすくなるためです。そのうえで、残った文字には太く見やすい色でデザインを施したり、被写体の背景を切り抜いて明るい背景に差し替えたりすれば、視認性とデザイン性を高めることができます。

66

収益を得るまでの流れを知ろう

覚えておきたいキーワード

YouTubeパートナープログラム
Google AdSense
収益化

動画コンテンツを収益化するためにはYouTubeパートナープログラムへ参加する必要があります。ここからは、YouTubeパートナープログラムの参加条件を満たしたあとの収益化までの流れを確認しましょう。

1 収益を得るまでの流れ

収益化の条件 (P.175参照) を満たすことができれば、YouTubeパートナープログラムに参加して収益化を有効にしましょう。YouTubeは収益をGoogle AdSense経由で受け取るしくみになっているため、YouTubeアカウント (Googleアカウント) をGoogle AdSenseに紐付ける (YouTubeパートナープログラムに申し込む) 必要があります。

Google AdSense とは

「Google AdSense」は、Googleが提供している広告配信サービスです。運営しているWebサービスやYouTubeの動画コンテンツに掲載された広告をクリックされることで収益が得られるしくみになっています。表示される広告はユーザーによって異なり、そのユーザーがよく検索しているキーワードや閲覧しているWebサイトに合わせて最適な広告を表示してくれるため、クリックされる可能性が高い収益方法の1つです。Google AdSenseを利用するには、Googleによる厳正な審査があり、審査基準は厳しいといわれています。YouTubeでGoogle AdSenseを利用する場合は、プログラムポリシーを必ず順守する必要があります。

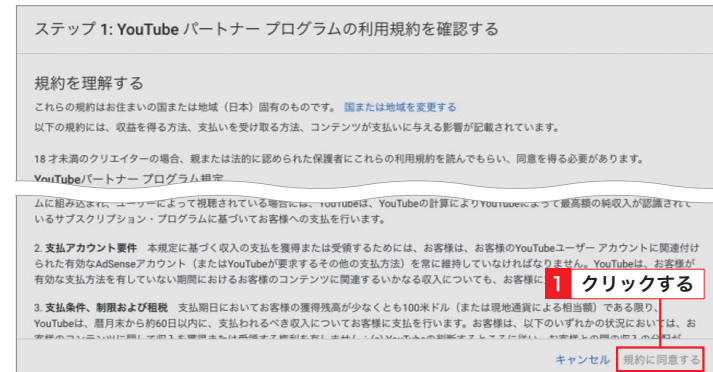


<https://www.google.co.jp/adsense/start/>

2 YouTubeパートナープログラムに申し込む

1 規約に同意する

P.140を参考にYouTube Studioを表示し、＜収益受け取り＞→＜申し込む＞の順にクリックします。＜開始＞をクリックし、＜規約に同意する＞をクリックします¹。



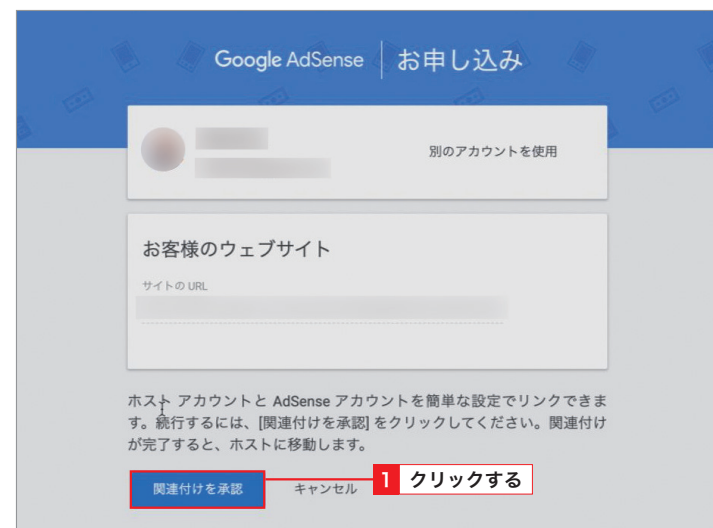
2 申し込みを開始する

「Google AdSenseに申し込む」の＜開始＞をクリックします¹。



3 ＜関連付けを承認＞をクリックする

AdSenseアカウントとチャンネルを接続し、＜関連付けを承認＞をクリックすると¹、チャンネルが審査待ちの状態になります。



Memo チャンネルは複数紐付けできる

チャンネルは複数紐付けできるため、サブチャンネルなどがある場合はそちらもリンクしておきましょう。

Memo 条件を満たしたときに通知を受け取る

YouTube Studioには、YouTubeパートナープログラムの参加条件を満たしたらメールで知らせしてくれる通知機能があります。YouTube Studioから＜収益受け取り＞を選択し、＜参加条件を満たしたら通知する＞をクリックしておく、チャンネル登録者数と総再生時間が収益化の条件を満たした時点でメールで通知してくれるようになります。

